



### 三角武久

#### 環境施策

**問** ①こまエコマつり新たな取り組みについて②桜まつりを長く続けるため桜の延命対策が必要と考えているが、どのような対策をしているか③ドッグラン整備方針の決定に際し、どのような整備方針を決めたのか

**答** ①狛江産竹炭を活用したスタンプラリーなど内容・規模ともに拡大。②倒木及び枝折れ等の被害を防ぐため、樹木診断調査を実施。③整備するにあたり、条件を設定するなど、まずは社会実験として実施。

#### 水防訓練・総合防災訓練の現在・過去・未来

**問** ①平成28年度総合水防訓練の評価・課題②高橋市長就任後に変化・変更があった訓練内容③平成21年度〜24年度の水防訓練で危機管理における訓練のあり方に問題があったと推察する。この件について伺う

**答** ①初めて川崎市と連携した訓練を実施し消防団も連携。仮想河川は立体的な意識がなかった。②自衛隊の参加、防災センターでの災害対策本部訓練の実施。③シナリオを用意し演習を見ながら実施していた。

#### 多摩川活用に向けての地元商店街の活性化

**問** ①ルールを決めてのパーベキュー復活は②駐車場の整備は③オリンピック、パラリンピックに向けてバス路線拡大は④花火大会を毎年開催できないか⑤地元商店街とどのようにコラボレーションしていくか

**答** ①市及び官公庁等の共同。②関係機関と調整している。③現在、事務レベルで折衝中。④そこまでの財政力を狛江市は持っていない。⑤関連部署と連携し検討を進める必要がある。



### 谷田部 一之

#### 誰もが安全安心に暮らせるまちに

**問** ①狛江駅南口交通安全対策として新たな駐輪場の設置は②福祉避難所における障がい者支援として一般避難所となっている体育館と分離させ教室に設けることはできないか

**答** ①今後の駐輪施設の運用等について、整理中。②災害発生日の1日後又は2日後を想定。③福祉避難スペースを体育館の一部または校舎教室に設置予定。



### 岡村 しん

#### 熊本地震の教訓を狛江市にも生かすために

**問** ①応援協定を結んで自治体と広域避難の協議はできないか②避難所のプライバシーの確保で仕切り等が必要ではないか③仮設住宅は何戸分足りないのか④災害弱者が耐震診断や改修する助成金の増額を

**答** ①協定自治体と協議し協力をお願いしたい②間仕切り等で収容人数減少お互いに協力し合うことも必要。授乳・着替え等の場所は配慮している③最大で約1600戸不足④現在のところ検討していない。

#### 市民とともに作る都市計画を

**問** ①71棟立退きが出る調布都市計画道路3・4号線のメリット、デメリット、必要性は②公共交通の導入とは③都アンケイトにこまエバスの路線可能性を回答した理由④課内のみの検討方法に問題はないか

**答** ①細街路への流入抑制、延焼遮断帯の形成等に寄与。用地買収等の協力が必要。必要性の検討は十分。②バス路線の可能性等。③付近の路線が狭いいため。④アンケイトへの回答として全く問題なし。



### 西村 あつ子

#### 学校教育について

**問** ①中学校の特別支援教室へパソコン設置を。②指定校変更で学校規模に影響が出ているが考えは。③部活の外部指導員の現状。

**答** ①パソコン整備は今後の課題。②大きな影響を与える場合は検討も必要。③部活動外部指導員報償費を確保。一定の効果あり。

#### 入学支度金の3月支給を。

**答** ①現在、通知用の文書を実施。7月中には実施したい。②今後検討していきたい。③事務的に可能な限りでの対応に努める。

**待機児解消と保育の質について**

**問** ①待機児数の見込み。②新設保育園での一時保育の実施は。③更なる増設も必要。④潜在保育士の掘り起こしの取り組みは。

**答** ①140〜150人程度②新設園は調整中、民営化園では実施予定③保育需要を見直すなど再検討④国が示す方針に従い検討



### 栗山 剛

#### 交通安全対策について

**問** ①電動アシスト付自転車による市内事故状況はあるのか。そして成人に対して安全指導は行っているのか。②第五小学校西側点滅信号の今後について。③交差点における安全対策は。

**答** ①警察からの報告はなし。これまで各種イベントを通じて実施している。②正式に撤去する予定とまでは聞いていない。カラー舗装やグリーンベルト、点滅信号の設置等を実施。

#### 北部地域のにぎわいについて

**問** ①野川を活用して市民全体のイベントは可能か。②野川の動物・植物・歴史をインターネットで説明できるシステムは可能か。③緑道でのにぎわいイベント計画は。

**答** ①市民団体の意向等も踏まえ、慎重に検討。②流域自治体との連携が必要。③ウォーキングイベントの実施など観光協会と相談し考えたい。

#### 他に、災害時、市内での飲料可能な井戸水について質問

**答** 26市中23市でタクシー券を給付しており、狛江市と同じ条件は5市。要件の拡大には多額の予算を必要とすることや、障がい者サービスと高齢者サービスの格差も生じることから困難。



### 鈴木 えつお

#### 福祉タクシー券の給付対象者を他市並に拡大を

**問** 身体障がい者手帳総合2級の男性から、福祉タクシー券の拡充を要望された。狛江駅南口からロータリーまで歩くのに10分以上かかること。ぜひ事業を拡大してほしい。他市の状況と今後について伺う

**答** 16年の空白を埋めた功労に報いて、いただく金額については、決して多いとは思っていない。

#### 1期4年で1436万円の市長退職金は高すぎる

**問** 国民健康保険加入者の53%が年間所得100万円以下で生活している。一方、市長の退職金は1期4年で1436万円も支給される。市民生活の実態と比較して、あまりに高すぎると思うが、市長の見解を伺う。

**答** この1期4年の間に、16年の空白を埋めた功労に報いて、いただく金額については、決して多いとは思っていない。



### 宮坂 良子

#### 高齢者が安心して暮らせるために、福祉の充実を

**問** ①市の介護利用料軽減は②西東京市の軽減は「高齢者を支え住み慣れた地域で暮らしたい人を支援する」と実施。狛江では11万円可能。このような目的で実施を③調布市のように入院の方へおむつ支給を

**答** ①単独軽減策は実施していない②共助の制度であり、低所得者については複数の軽減策があるため実施は考えていない③在宅介護を行う方への負担軽減を目的としている。入院の方への支給は考えていない。

#### 青延長の信号機設置、道路・歩道の安全対策を

**問** ①ユニディ前横断歩道、高齢や障がいの方が渡りきれない時がある。青延長の信号機設置を。②慈恵病院前丁字路に駐車場の計画、概要は。③事業者としての安全対策は。④市の安全対策を。

**答** ①警察に確認したところ、非常に難しいとの回答。②狛江市まちづくり条例に該当。計33台を収容する有料路外駐車場。③利用者へ注意喚起。必要に応じて右折入庫禁止。④市も安全確保等について協議。



### 田中 智子

#### 市民参加と協働、市民センターの提案を生かす

**問** ①市民センター増改築に関する市民提案書の評価と受け止めは。②具体的な検討を。③庁内検討だけでなく外部専門家の活用を。また予算の手立ては。④市民センター横断路の閉鎖を解くべき。

**答** ①コンセプトはよく考えられている。具体的提案がないので精査が必要②まず実現可能性の調査が必要③補正予算を組み設計事務所等への委託が必要と考える④来庁者の安全確保のため協力をお願いする。

#### スポーツ環境の充実について

**問** ①現状の課題は②ボール遊びのできる公園の増設を③都道の開通で貸与された東側の土地の活用は④ボール遊びもできるような検討を⑤高架下スリクションコートは閉鎖より充実を。再開すべき。

**答** ①仕事や家事、育児が忙しい年代の参加率。実施率向上②様々な配慮事項があることから、慎重な検討が必要③狛江市スポーツ推進審議会が審議④⑤審議してまいりたい⑤答申を踏まえ教育委員会で検討